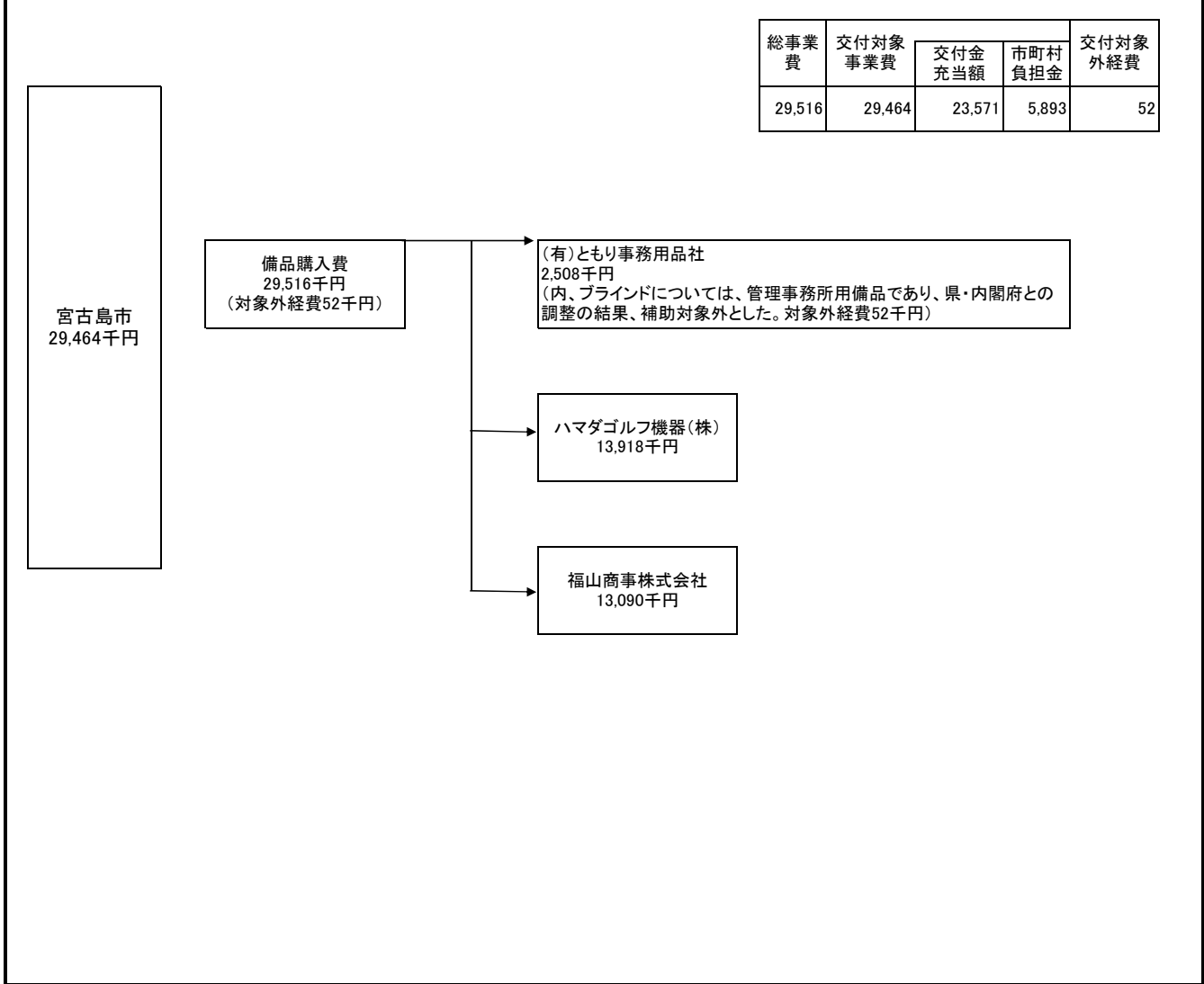


市町村名	宮古島市						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	伊良部野球場物品購入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-2-(2)-ア		
担当部署名	建設部 建築課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	伊良部野球場の利便性を確保するため、球場で使用するグラウンド整備用機械等の物品を整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	0	34,044			
		(b)予算現額	0	29,464			
		(c)増減額(b-a)	0	▲4,580	0	0	0
		(d)繰越額	0		27,008		
	A.計(b+d)	0	29,464	27,008	0	0	
	B.執行済額	0	2,456	27,008			
	うち交付金充当額	0	1,965	21,606			
	次年度繰越額	0	27,008				
	執行率(%) (B/A)		8.3%	100.0%			
予算の状況の説明	予算の減額については、設計額の変更(単価の見直し)に伴う減額であり、グラウンド整備用機械および、キャンプ用備品(ケージ、ネット類)を保管する野球場メインスタジアムの完了に合わせる必要があったため、予算を繰り越して執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	グラウンド整備用機械・練習用ケージ・机・イス等の購入	目標	( 物品購入 )	( )	( )	( )	
		実績	物品購入				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	令和2~令和2年度繰越事業において、当初計画のイス・テーブル等事務用品及びグラウンド整備用機械、ケージ、ネット類のキャンプ用備品の購入。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R3年度)
	グラウンド整備用機械・練習用ケージ・机・イス等の購入の完了	目標	( )	( 物品購入完了 )	( )	( )	( )
		実績		物品購入完了			
	【参考指標】 供用開始後1年目(令和3年度)の目標を以下のとおりとする。 ・施設利用者の利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( )	( 80%以上 )	( )	( 80%以上 )
		実績			-		
進捗状況説明	当事業による備品を整備したことで、本野球場の利用環境の機能向上に繋がった。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から施設利用の制限期間があったこと、野球キャンプ期間中の来島自粛要請等の影響もあり、令和3年度においてはアンケートの実施には至っていない。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	購入備品の保管場所である野球場メインスタジアムの完成を待つ必要があったため、工事の状況を考慮しながら備品を納入する必要があった。 施設利用者満足度の向上のためにも、指定管理者制度の活用なども検討する必要がある。	現在、伊良部野球場の維持管理については、任用職員でグラウンド維持管理等を行っている。今後は、指定管理者制度を導入する等、利用者のさらなる利便性向上を図る必要がある。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
指定管理者制度の活用等、施設の利便性、利用者満足向上の取組を検討する。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

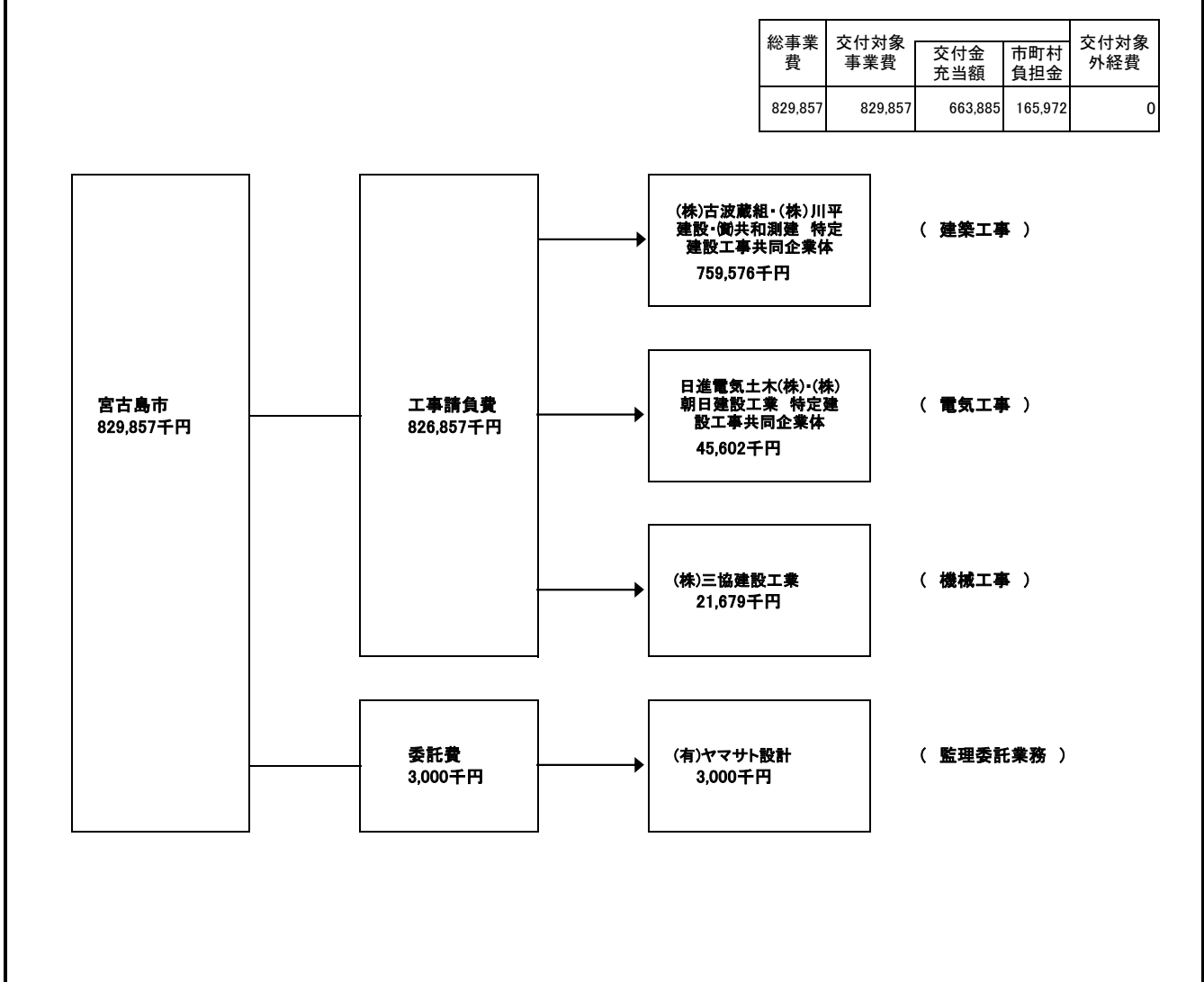


資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については適正な規模であったと考える。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宮古島市						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	平良港総合物流センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(1)-イ		
担当部署名	建設部 港湾課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	人流・物流を支える港湾の整備 Ⅲ-9		
事業内容	宮古地域において物流の安定化を図るため、平良港において近年増加傾向にある取扱物流量に対応できるように、平良港総合物流センターを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,362	15,325	23,222	829,857	
		(b)予算現額	6,362	10,260	23,222	829,857	
		(c)増減額(b-a)	0	5,065	0	0	
		(d)繰越額	0	0			344,201
	A.計(b+d)	6,362	10,260	23,222	829,857	344,201	
	B.執行済額	6,022	10,260	22,702	485,656	344,201	
	うち交付金充当額	4,817	8,208	18,162	388,524	275,361	
	次年度繰越額	0	0	0	344,201	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.8%			
予算の状況の説明	杭工事において図面では確認できなかった他工事における被覆石が大量に発見され、地盤改良等に不測の日数を要したため、R2年度内の事業完了が困難となり繰越事業となった。R2年度繰越事業の執行率は100%で予算規模は適切であった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	平良港総合物流センター建設工事の実施	目標	(工事1年目完了)	( )	( )	( )	
		実績	工事1年目完了				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	平良港総合物流センター建設工事は、建築、電気、機械、監理委託業務の全ての工事(業務)を発注し工事着手できた。令和3年7月末までには基礎工事まで(令和2年度予算範囲)終えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	平良港総合物流センター建設工事1年目の完了	目標	( )	(工事1年目完了)	( )	( )	( )
		実績		工事1年目完了			
	【参考指標】	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	平良港総合物流センター建設工事は、建築、電気、機械、監理委託業務の全ての工事(業務)を発注し工事着手できた。令和3年7月末までには基礎工事まで(令和2年度予算範囲)終えることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和4年度の建物供用開始に向けて、設計書に適合した建物と品質向上を達成し耐久性の優れた建物に仕上げるために、品質管理の徹底を行う。	品質管理の徹底を行うために、現場での自主検査(施工者)、監理検査を行いその検査の報告書を写真等を揃えて発注者に提出する。(検査は各ポイント毎で行う)
<b>今後の取り組み方針</b>		
令和2年度及び令和3年度に本体工事を行い、令和4年4月に供用開始を予定している。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



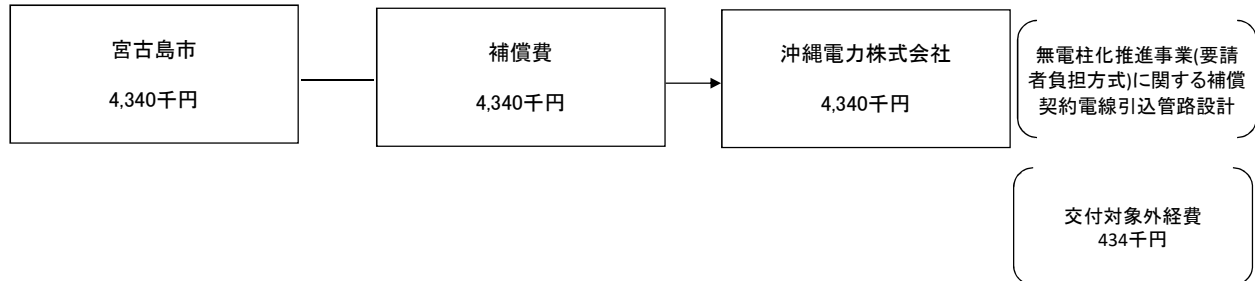
資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者は指名競争入札で落札されていることから妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○受注者からは異議もなく、予算としても入札残があることから予算規模は適正であると考えます。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、目的とする建物に必要なものを限定し設計されていると判断している。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-①	宮古島市観光景観形成推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
	担当部署名	建設部 道路建設課	事業実施(予定)年度	令和2年~令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	電線類を地中化することで、景観に配慮した風景を形成し更なる観光地としての魅力向上を図るため、無電柱化を推進する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和7年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(補償)							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度		
		(a)当初予算額	-	9,324	-			
	(b)予算現額	-	4,961	-				
	(c)増減額(b-a)	-	▲4,363	-	0	0		
	(d)繰越額	-		4,961				
	A.計(b+d)	-	4,961	4,961	0	0		
	B.執行済額	-	0	4,774				
	うち交付金充当額	-	0	3,472				
	次年度繰越額	-	4,961	-				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	96.2%				
予算の状況の説明	沖縄電力株式会社との補償契約が当初の想定より低額で契約できたため、事業費4,363千円を減額した。また、コロナウイルスの流行による緊急事態宣言の影響により、地権者との交渉等が出来ない期間が長引いたため補償費全額を令和3年度に繰越した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	年度	年度		
	電線引込管路実施設計の実施	目標	( )	( 引込管路実施設計の実施 )	( )	( )		
		実績		引込管路実施設計の完了				
		目標	( )	( )	( )	( )		
実績								
達成状況説明	令和2年度に補償契約を締結し引込管路の設計を行ったが、コロナウイルスの流行による緊急事態宣言の影響で履行期間を延長し、令和3年5月に完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R7年度)	
	電線引込管路実施設計の完了	目標	( )	( 電線引込管路実施設計の完了 )		( )	( )	
		実績		電線引込管路実施設計の完了				
	【R7成果目標】近隣観光施設利用者を対象として、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。		目標	( )	( )	( )	( )	( 80%以上 )
			実績					
進捗状況説明	令和2年度(繰越)で電線引込管路の実施設計を完了している。令和3年度は電線引込管路の設置工事と電線入線の実施設計を行う。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	令和2年度に補償契約を締結し引込管路の設計を行ったが、コロナウイルスの流行による緊急事態宣言の影響で履行期間を延長し、令和3年5月に完了した。	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により業務進捗の遅れが発生した。令和3年度は早期の契約締結により工期を確保する。
今後の取り組み方針		
R3:電線引込管路設置工事、電線入線実施設計。 R4:電線ケーブル・地上機器等の購入 R5:地上機器設置・電線ケーブル入線工事。通信引込管路設計及び設置工事 R6:通信ケーブル設計及び入線工事		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,774	4,340	3,472	868	434



資金の流 れの 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補償契約は電線管理者である沖縄電力株式会社と締結しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は187千円であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	